

資料 4

報道発表資料
平成25年 3 月12日
気 象 庁

第125回火山噴火予知連絡会
全国の火山活動の評価

本日、第124回火山噴火予知連絡会（平成24年10月24日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

○ 全国の主な火山活動

今期間（平成24年10月24日～平成25年 3 月12日）、霧島山（新燃岳）では噴火は発生しませんでした。火口内には依然として溶岩が蓄積しています。三宅島、硫黄島、桜島、諏訪之瀬島で噴火が発生しました。箱根山では1月中旬から2月中旬まで地震が増加しました。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕については、別に「霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕昭和火口では、今期間も活発な噴火活動が継続しました。今期間の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上2,800m、大きな噴石が最大3合目まで達しました。また、火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が3回発生しました。

始良カルデラの地下には、多量のマグマが蓄積されています。引き続き活発な噴火活動が継続すると考えられますので、火山活動の推移に注意してください。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕では、1月22日にごく小規模な噴火が発生しました。やや多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対して警戒してください。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1）〕では、1月中旬から駒ヶ岳～仙石原付近の浅い所を震源とする地震が増加していましたが、2月下旬以降、地震は少ない状態で経過しています。地殻変動観測では、山体のわずかな膨張が観測されていましたが、一部では鈍化する傾向がみられます。噴気等の表面現象には特段の変化はみられていません。

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

① アトサヌプリ [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 雌阿寒岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 大雪山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・ここ数年、山体浅部の膨張や大正火口の噴煙量増加及び地震増加などが観測されています。また、2012年以降、吹上温泉地区では1988-89年噴火の数年前から見られたのと同様の温泉のCl/SO₄比の上昇傾向が、わずかに認められていますので、今後の活動の変化に注意してください。

⑤ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・A火口、B噴気孔群及びH亀裂では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

⑥ 倶多楽 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑨ 恵山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 秋田焼山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・2012年10月に振幅の小さな火山性微動が発生しました。
- ・今期間、地殻変動や表面現象に変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・女岳^{めだけ}では新たな高温域が2009年に確認され、2012年8月にかけて拡大しましたが、10月の現地調査で特段の変化は認められませんでした。
- ・地震活動、地殻変動及び噴気活動に特段の変化は認められません。
- ・ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

⑤ 鳥海山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 蔵王山 [噴火予報(平常)]

- ・2013年1月に、振幅の小さな火山性微動が発生しましたが、それ以外の期間、火山性地震は少ない状況で経過しています。
- ・今期間、地殻変動や表面現象等に変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・遠望カメラによる観測では噴気活動はやや活発な状態が続いています。
- ・火山性地震は2012年10月と11月にやや多い状況となりましたが、12月以降は少ない状況になっています。
- ・ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出がみられるので警戒してください。また、風下側では、火山ガスに注意してください。

⑨ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・2012年12月17日に沼ノ平火口の南約5km、深さ約8kmを震源とする、マグニチュード3.7の地震が発生しました。この地震の余震が17日に15回、19日と23日に各1回発生しましたが、その後は静穏に経過しています。
- ・今期間、地殻変動や表面現象に変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 2012年11月に振幅の小さな火山性微動が発生しました。
- ・ 今期間、地殻変動や表面現象に変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 日光白根山 [噴火予報(平常)]

- ・ 2013年2月25日に山頂の北北東約10km、深さ約3kmを震源とする地震(マグニチュード6.3(暫定値)、最大震度5強)が発生しました。それ以降、その震源の周辺で地震活動が活発な状況になりましたが、その後地震活動は低下してきています。
- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 振幅の小さな火山性地震の一時的な増加が時々みられました。
- ・ 湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒してください。

④ 浅間山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山性地震は、2010年4月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は、2010年3月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・ 山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、2009年秋頃から縮みの傾向がみられます。
- ・ 火山活動は2010年4月以降静穏な状態が続いていますが、山頂火口から500mの範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒してください。

⑤ 新潟焼山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 弥陀ヶ原 [噴火予報(平常)]

- ・ 東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、周辺で地震活動が活発な状況となりました。その後、周辺の地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・ 立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012年6月以降の観測で一部の噴気の活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

⑦ 焼岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 乗鞍岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑨ 御嶽山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 白山 [噴火予報(平常)]

- ・2013年1月31日と2月1日に山頂付近でややまとまった地震活動がありました。これらの地震は、従来から活動がみられる領域で発生しました。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑪ 富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)の発生直後は山体周辺の地震活動はみられませんでした。2011年3月15日に山頂の南南西約5km、深さ15kmを震源とする静岡県東部の地震(マグニチュード6.4、最大震度6強)が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・その他の観測データで異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。
- ・なお、富士山3合目(山頂の北西約6km)で、2012年2月10日にかすかな湯気が確認されましたが、4月、5月、7月及び11月の現地調査では湯気は認められず、硫黄臭や温度の異常も認められませんでした。

⑫ 箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・2013年1月中旬から駒ヶ岳～仙石原付近の浅い所を震源とする規模の小さな地震が増加しましたが、2月下旬以降、地震は少ない状態で経過しています。低周波地震や火山性微動は観測されていません。
- ・体積ひずみ計や傾斜計による地殻変動観測では、2013年1月上旬頃から山体の膨張を示すわずかな変化がみられていますが、2月中旬頃から鈍化する傾向がみられます。GPSによる地殻変動観測では、2012年末頃から箱根山周辺の一部の基線にわずかな伸びの傾向がみられています。
- ・箱根山では、2001年6月から10月にかけて地震が多発し、地殻変動観測でも山体の膨張を示す変化がみられ、噴気活動が活発化しました。現時点では、2001年の活動と比べ、観測されている地殻変動は小さく、噴気等の表面現象にも特段の変化はみられず、噴火の兆候は認められません。

⑬ 伊豆東部火山群 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑭ 伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・長期的には、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。
- ・GPSおよび光波測距による地殻変動観測では、2012年の初め頃からわずかに縮みの傾向がみられましたが、9月頃には停滞し、10月頃から伸びの傾向がみられています。また、体積ひずみ計による地殻変動観測では、2012年1月以降縮みの傾向がみられましたが、10月中旬以降は伸びの傾向がみられています。

- ・他の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しており、三原山山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑮ 新島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑯ 神津島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑰ 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・2013年1月22日にごく小規模な噴火が発生し、東側の山麓でごく少量の降灰を観測しました。噴火の発生は2010年7月21日以来です。
- ・火山性地震は、2010年9月以降概ね少ない状態です。
- ・GPSによる地殻変動観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。一方、深部の膨張を示す地殻変動は続いています。
- ・二酸化硫黄の放出量は、長期的には緩やかな減少傾向にあるものの、2012年10月以降は1日あたり200トン～700トンの火山ガス放出が続いています。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に対して引き続き警戒してください。風下にあたる地区では火山ガスに警戒してください。

⑱ 八丈島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑲ 青ヶ島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑳ 硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

- ・島西部の旧火口(通称:ミリオンダラーホール)では、2012年2月以降、ごく小規模な水蒸気爆発が度々発生しています。今期間、2013年2月中旬に小規模な水蒸気爆発が発生しました。また、2012年12月上旬及び2013年3月上旬にもごく小規模な水蒸気爆発が発生したと推定されます。
- ・地震活動は概ね静穏に経過しました。
- ・GPSによる地殻変動観測では、2012年4月27～28日に通常より大きな島全体の隆起を観測し、その後は沈降を観測しましたが、その傾向は鈍化し、2012年末まではほぼ停滞していました。2013年1月頃からわずかに隆起の傾向がみられます。島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒してください。

㉑ 福德岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)]

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒してください。

4. 九州地方・南西諸島

① 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 九重山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 阿蘇山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・孤立型微動が2012年12月中旬頃から増加していますが、火山性微動は観測されず、火山性地震は少ない状態で経過しています。火山性地震の震源は、主に中岳第一火口直下のごく浅いところに分布しました。
- ・湯だまり量は期間を通して9～10割で経過し、湯だまりの表面温度は50℃前後で低い状態で推移しました。噴湯現象、土砂噴出はともに確認されませんでした。
- ・南側火口壁の最高温度は253～312℃で推移し、温度分布に特段の変化は認められませんでした。2012年12月に実施した夜間観測では、南側火口壁の一部に赤熱現象を確認しました。前回観測(2012年9月)と比較して赤熱域に特段の変化は認められませんでした。2012年10月～2013年1月にかけて高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を時々観測しました。
- ・噴煙活動は低調で、白色の噴煙が火口縁上概ね200mで経過しました。
- ・二酸化硫黄の放出量は1日あたり400～900トンと特段の変化は認められませんでした。
- ・以上のように中岳第一火口では、火山活動にわずかながらも高まる傾向がみられていることから、今後の火山活動の推移には注意する必要がありますが、今のところ火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・火口内では土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。
- ・南阿蘇村吉岡の噴気活動はやや活発な状態が続いており、引き続き噴気活動に注意してください。

④ 雲仙岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 霧島山

新燃岳 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

- ・2011年9月7日の噴火以降、噴火は発生していません。
- ・GPS連続観測では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う、新燃岳北西側の一部の基線における地盤の伸びは、2012年1月以降ほぼ停滞しています。新燃岳周辺の基線では火山活動によると考えられる変動はみられませんでした。
- ・傾斜計では、火山活動に伴う特段の変化は認められませんでした。
- ・新燃岳直下を震源とするBH型地震は2012年5月頃から減少していましたが、2013年3月5日頃から8日にかけてやや増加しました。2012年11月4日と2013年1月20～

23日に大幡池付近を震源とする振幅の小さなA型地震が増加しました。

- ・ 噴煙活動は静穏で、白色の噴煙が火口縁上200m以下で経過しました。
- ・ 2013年1月24日、2月7日及び3月6日に実施した現地調査では、二酸化硫黄は検出されませんでした。
- ・ 2012年11月8日及び2013年2月13日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊、3月8日に鹿児島県の協力を得て実施した上空からの観測では、火口内に蓄積された溶岩の北側から東側及び南側に複数の噴気孔がみられ、火口内にとどまる程度のごく少量の白色の噴煙が主に北側と東側から上がっていました。また、溶岩上には東側から南側にかけて水たまりが数カ所確認されました。2011年中旬頃から、火口内に蓄積された溶岩の形状や火口内の噴気の状態に変化はありませんでした。
- ・ 以上のように、マグマだまりへの深部からのマグマ供給は停止した状態が続いています。しかし、現在でも火口には高温の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震も発生していることから、小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。今後は、火口及び火口近傍の活動を注意深く見ていく必要があります。また、地下からのマグマの供給が再開すれば、本格的な噴火が再開する可能性は残っています。
- ・ 新燃岳火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側では火山灰だけではなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に留意してください。降雨時には泥流や土石流に警戒してください。降雨に関する情報に留意してください。

御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

- ・ 昭和火口の噴火活動は、活発な状態で経過しました。
- ・ 爆発的噴火の発生回数は、2012年8～12月までやや少ない状態でしたが、2013年1月から増加し、2012年10月～2013年2月25日までで327回となっており、大きな噴石が3合目まで達する爆発的噴火も19回発生しました。また、噴煙の最高高度は火口縁上2,800mでした。火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流も時々発生しました。
- ・ 南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が時々発生しており、2012年12月2日16時34分にはごく小規模な爆発的噴火が発生しました。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は、1日あたり1,200～5,700トンと多い状態が継続しています。
- ・ 島内の傾斜計及びGPSでは、2012年8月頃から山体の沈降・収縮の傾向となっていました。2013年2月頃から隆起・膨張に転じています。
- ・ 噴火により放出された火山灰の総噴出量は、1月あたり30～50万トンとやや多い状態で、2012年8月以降2013年1月まで特段の変化はありませんでした。
- ・ 火山灰の放出量と地殻変動量から導いた桜島直下へのマグマの供給量は、2012年8月頃から2013年1月頃までは、ほぼ一定状態となっています。
- ・ GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ深部（鹿児島湾奥部）の膨張は2012年11月頃から停滞しています。
- ・ 以上のように、桜島直下へのマグマの供給は、依然として続いています。噴火活動が活発化しているので、今後の火山活動の推移に注意してください。
- ・ 昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さ

な噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

⑦ 薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）] ←平成24年11月29日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げました。

- ・硫黄岳山頂火口の噴煙活動は、2005年の噴火活動終了後も2009年頃まで活発な状態が続いていましたが、2009年中頃以降はやや低下した状態で経過しています。
- ・地震活動は、2010年末以降、低調な状態で経過しています。
- ・硫黄岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等が噴出する可能性があります。また、やや多量の火山ガスの放出が続いていることから、山頂火口周辺では火山ガスに注意してください。

⑧ 口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・2013年1月中旬頃から振幅の小さな火山性地震がやや増加し、2月以降もやや高まった状態で経過しています。
- ・噴煙活動に大きな変化はなく、噴煙の高さは火口縁上概ね100m（最高高度は400m）で経過しました。
- ・GPS連続観測による地殻変動観測では、新岳火口付近の膨張を示すと考えられる変化が緩やかながらも続いています。傾斜計では特段の変化は認められていません。
- ・火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、長期的には緩やかながらも火山活動はやや高まりつつあり、今後の火山活動の推移に注意してください。新岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

⑨ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・2月19日19時21分に発生した諏訪之瀬島周辺を震源とするマグニチュード3.6（暫定値）の地震により、諏訪之瀬島で震度3を観測しました。この地震活動に伴う特段の火山活動の変化は認められませんでした。
- ・御岳火口では、爆発的噴火は発生しませんでした。振幅の小さな火山性微動が2012年9月以降、ほぼ連続して発生しています。また、ごく小規模な噴火が時々発生しており、噴火活動は長期的には活発な状態で経過しています。
- ・今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

注）噴火警戒レベルは平成25年3月12日現在、29火山に導入しています。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 9 月29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17 日 噴火予報（平常） 2008年11月17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 4 月10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年12月16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年10月27 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	日光白根山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009年 4 月10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年 4 月15 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	焼岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
			2008年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）

	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	白山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年 3 月31日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	九重山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2011年 5 月16日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2011年 6 月20日 噴火予報（レベル 1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報 （レベル 3、入山規制）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008年 8 月22日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル 1、平常） 2010年 3 月30日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年 4 月16日 噴火予報（レベル 1、平常） 2010年 5 月 6 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2011年 1 月26日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2011年 1 月31日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2011年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2011年 3 月22日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2012年 6 月26日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル 3、入山規制）	2007年12月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008年 2 月20日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008年 4 月 8 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008年 7 月14日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008年 7 月28日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008年 8 月28日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 2 月 2 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009年 2 月19日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 3 月 2 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009年 3 月10日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009年 4 月24日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 7 月19日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2010年 9 月30日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2012年 3 月12日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2012年 3 月21日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替
	薩摩硫黄島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2012年11月29日 噴火予報（レベル 1、平常）

	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地 方	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

* 天頂山と雄阿寒岳は2011年6月7日に活火山として追加し、噴火予報（平常）を発表しました。

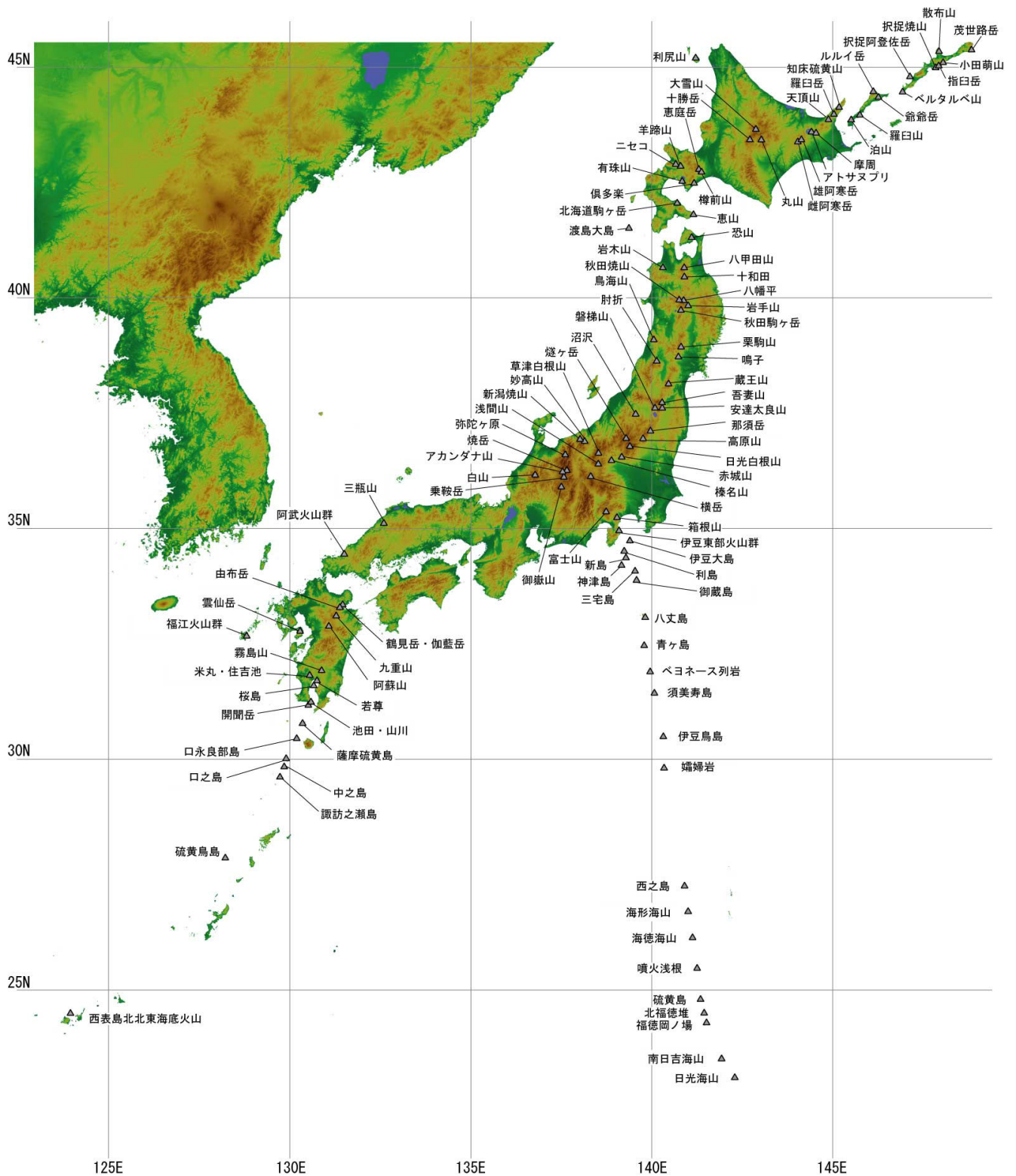


図 全国の活火山分布